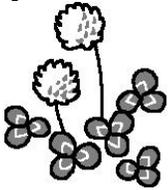


# 新型コロナウイルスの 宿泊事業者への影響

田邊麻由香 (葵ゲストハウス代表)



新型コロナウイルスの小規模宿泊事業者への影響は壊滅的です。予約キャンセルは2月頃、中国人旅行者が中心でしたが、3月に入るとヨーロッパ、アメリカ、韓国、オーストラリア、中東などキャンセル対象国が拡大し、京都簡易宿所連盟によると、現在客室稼働率が20パーセント以下の宿がほとんどを占めているといます。

私のゲストハウスの場合、すでに2月下旬より外国人および日本人客の自粛によるキャンセルが相次ぎ、こちら側もウイルス蔓延防止という公共の福祉への責任感から、一時閉店を決断しました。ただでさえ京都の冬季、1月から2月は観光ローシーズンで収入がほとんどありませんが、その上通常ならハイシーズンである3月から4月の閉店は大きな打撃で、この状態が長期化すれば光熱費など諸経費や固定資産税の支払いも不可能になります。

国の発表した支援策は、ドラマチックな数字でニュース性はありますが、厳しい条件や煩雑な手続きを伴う現実性の薄い内容に思えます。政財界自身に向けられた、中身の無い内向きな政策ではなく、生活に苦しむ国民を一刻も早く救助することに全力を挙げるべきです。

ある飲食店の店主さんが「四〇年間商売やってきたがこんなことはかつてなかった。客ゼロの日が続く。このままでは店を閉めることに。せめて国が十万円でも五万円でも給付して当面はこれでいいでくれと言ってくれたら、どれだけ心の支えになるか」と話してくださいました。各分

野から痛切な声。「宣言」を出そうが出すまいが、自粛と補償を一体に行わないと、ウイルスより前に「暮らし」が壊れてしまいます。安倍政権を待ってはいられません。東京都が「感染拡大防止協力金」を打ち出しましたが、京都市独自でもやるべきです。後からでも安倍政権はこの

地方の頑張りには補填すべきです。新型コロナウイルス対策をめぐる様々な問題は、自民党政権による医療・福祉の切り捨て政策の問題点を浮き彫りにしています。保健所設置基準の規制緩和をうけて、京都市全体でも保健所の統廃合が進められ、二〇二一年に



は京都市内十一の区役所にあった保健所が一ヶ所に集約され「保健センター」への格下げ(医師が不要に)。二〇一七年には、各区役所に残されたセンターの機能さえも、本庁の「医療衛生センター」に集約化。感染したのではないかと不安の声が寄せられても十分対応しきれない状況が生まれている背景に、

四月二四日からの市議会で、国会議員と連携しつつ、追加の経済対策や検査・医療体制の補強などを一歩でも前に進めるために力を尽くします。

## 新型コロナウイルス対策に全力

日本共産党京都市議員 とがし 豊



公衆衛生部門のリスクがあります。保健所、検査・医療体制の充実とともに、区役所に総合的な相談窓口を設置し、各関係機関にもっとも効果的につながることをもとめて申し入れています。



発行 葵・下鴨・松ヶ崎 地域民報社

〒606-0824 下鴨東半木町 71-25 Tel 761-6341

新しい視点 展望しめす 赤旗 日刊紙 3497円 日曜版 930円 京都市民報 680円



### 新型コロナウイルス対策・電話相談

平日 午前10時～午後5時  
日本共産党京都市議団 Tel 222-3728  
(市議員が電話で対応)  
4月25日(土)午前10時～午後6時  
左京区生活相談所 Tel 781-6622  
(党議員が電話で対応)

緊急事態宣言 補償拒否 金

経済の補正 対応が遅い 消費税を5%に上げる

ただす 銀二朗

(銀二朗)

ちややまにぐ

ツバキ(葵 大石)



絵手紙 (松ヶ崎 西尾)

人とは向きあって坐らず間隔をあけ、話を控え、接触はだめ、外出は自粛を。なんだ、それは！「ひとりぼっちの高齢者をなくそう」「健康には仲間づくり、社会活動が大事」「楽しくみんなでワイワイ」と言ってきたのに、全く逆だ。友人との会合も避け、孫と遊ぶのも遠慮。新型コロナウイルス。人間の社会は随分ともろい物だったと改めて気づく日常だ。「みなさん、どうしていらつしやいますか。お気をつけて、御無理なさらさず」"としか言いようがありません。▼政府、自治体には万全の医療体制の整備と、生活、営業が困難となり、また立ちいかなくなった人達への十分な補償をお願いします▼。暫くは、交流、交際も控えなければなりません。が、ここは辛抱ですね。でも郵便、電話などの手段がありますから、お互い、励まし合って、体調に気をつけて乗り越えなければなりません。(下鴨・A)